

# 目次

第1章 本論文に関する先行研究、及び本論文の枠組み	1
1-1. 台湾における日本語と日本語学習の動機づけ	1
1-1-1. 外国語学習の動機づけ	1
1-1-2. 台湾の高等教育機関における日本語学科の推移 と動機づけとの関係	3
1-1-3. 台湾における日本語学習の動機づけ研究	4
1-1-4. 日本語学習の動機づけの変化	6
1-1-5. 台湾の日本日本文化の受容と動機づけ	9
1-2. 動機づけを中心に学習ストラテジー及び第二言語不安との関係	11
1-2-1. 学習ストラテジーに関して	11
1-2-1-1. 動機づけと学習ストラテジーとの関係	11
1-2-1-2. 本研究における学習ストラテジーの定義	12
1-2-2. 第二言語不安に関して	14
1-2-2-1. 第二言語不安に関する先行研究	14
1-2-2-2. 動機づけと第二言語不安との関係	16
1-2-2-3. 本研究における第二言語不安の定義	17
1-3. 本論文の目的と構成	18
第2章 日本語学習の動機づけとその成果	21
2-1. はじめに	21
2-2. 研究の目的	22

2-3. 調査について	23
2-3-1. 調査の方法	23
2-3-2. 被験者	23
2-4. 分析と考察	24
2-4-1. 日本語学習動機の因子の抽出	24
2-4-2. 日本語学習動機の構造	28
2-4-3. 五つの日本語学習動機の関連性	30
2-4-4. 日本語学習動機の男女差	32
2-4-5. 学習者の三つのタイプと日本語能力	34
2-4-6. 日本語学習の成果に影響を与える動機づけ因子	37
2-5. まとめ	38
第3章 台湾の大学の夜間コースにおける日本語学習の 動機づけ	40
3-1. はじめに	40
3-2. 研究の目的	43
3-3. 調査の概要	43
3-3-1. 調査対象	43
3-3-2. 調査方法	43
3-4. 日本語学習の動機づけ	46
3-5. 分類別動機づけの特徴	48
3-5-1. 所属別動機づけの特徴	48
3-5-2. 男女別動機づけの特徴	50
3-5-3. 学位取得の可否別動機づけの特徴	51

3-5-4. 職の有無別動機づけの特徴	52
3-5-5. 進修部学年別動機づけの特徴	53
3-5-6. 年齢別動機づけの特徴	54
3-6. 教室活動への応用	56
3-6-1. 所属別	56
3-6-2. 男女別	57
3-6-3. 学位取得の可否別	57
3-6-4. 職の有無別	57
3-6-5. 進修部学年別	58
3-6-6. 年齢別	58
3-7. まとめ	58
第4章 好成績取得者の動機づけタイプの探索	61
4-1. はじめに	61
4-2. 研究の目的	61
4-3. 研究の概要	62
4-3-1. 分析データ	62
4-3-2. 分析の方法	64
4-4. 分析と考察	64
4-4-1. 日本語学習動機の因子の抽出	64
4-4-2. 日本語学習の九つの動機づけの関連性	68
4-4-3. 日本語学習の九つの動機が成績に与える影響	70
4-4-4. 「報酬期待型動機づけ」と「理解享受型動機づけ」	71

4-4-5. 学習者の五つのタイプと成績との関係	75
4-4-6. 動機づけの学年別差異	78
4-5. まとめ	82
第5章 動機づけと学習ストラテジーが学習成果に与える影響	84
5-1. はじめに	84
5-2. 研究の概要	84
5-2-1. 研究の目的	84
5-2-2. 研究の方法	85
5-2-2-1. 分析データ	85
5-2-2-2. 分析の手順と方法	86
5-3. 分析と考察	86
5-3-1. 日本語学習動機の因子の抽出	86
5-3-2. 「理解享受型動機づけ」と「報酬期待型動機づけ」	90
5-3-3. 学習ストラテジーの相関と平均値	93
5-3-4. 成績別学習者グループの動機づけ及び学習ストラテジーの特徴	94
5-3-4-1. 成績別グループの平均値	94
5-3-4-2. 成績と八つの動機づけとの関係	94
5-3-4-3. 成績と二つの動機づけとの関係	97
5-3-4-4. 成績と学習ストラテジーとの関係	98
5-3-4-5. 本研究のパス解析におけるモデル	99

5-3-5. 動機づけ学習ストラテジー成績の共分散構造分析	101
5-5. まとめ	103
<b>第6章 動機づけと第二言語不安が学習成果に与える影響</b>	<b>106</b>
6-1. はじめに	106
6-2. 研究の概要	107
6-2-1. 研究の目的	107
6-2-2. 研究の方法	107
6-2-2-1. 分析データ	107
6-2-2-2. 分析の手順と方法	108
6-3. 分析と考察	109
6-3-1. 日本語学習動機の因子の抽出	109
6-3-2. 「理解享受型動機づけ」と「報酬期待型動機づけ」	112
6-3-3. 第二言語不安の因子の抽出	113
6-3-4. 「内発的不安」と「外発的不安」	117
6-3-5. 成績別学習者グループの動機づけ及び第二言語不安の特徴	120
6-3-5-1. 成績別グループの平均値	120
6-3-5-2. 成績と二つの動機づけ因子との関係	121
6-3-5-3. 成績と七つの第二言語不安因子の関係	122
6-3-5-4. 成績と二つの第二言語不安因子の関係	124

6-3-5. 動機づけ第二言語不安成績の共分散構造分析	125
6-4. まとめ	128
第7章 総括	130
7-1. 動機づけの構成概念	130
7-2. 本論文のまとめと意義	133
7-3. 本研究結果からの教育的示唆—教師の役割	138
7-4. 今後の課題	139
あとがき	143
引用・参考文献	147
資料	166
1. 第2章、第3章で使用したアンケートの質問	166
2. 第3章の被験者について	167
3. 第4章～6章で使用したアンケートの質問	168

## 図表の目次

図2-1 日本語学習動機の二要因モデル	30
図2-2 三群の日本語学習動機得点	35
図2-3 日本語能力試験一級の三群の平均点	37
図3-1 所属別動機づけ要因の強さ	48